

磯 碩  
「神奈川における交易・交流 ― 神奈川における

中田 稔（七里ガ浜高校）

モノを活用した日本史教材―」経過報告

県立川崎高校 白 川 重 敏

「神奈川における交易・交流―神奈川をめぐるモノを活用した日本史教材」を共同研究テーマに設けて六年目となる。この研究活動は、地域に残されている文献史料や文化財資料を使って、それをどのように教材化し、授業に生かすことが出来るかを研究課題としている。委員会は八月と二月を除く毎月一回、委員の勤務校や県内施設を使って月例会を開き、秋と春の研究発表会で発表してきた。また恒例となった世界史研究推進委員会との合同委員会も実施し、活発な討議がなされた。七月には全歴研東京大会に日本史から早川英昭（栄光学園高校）が参加・発表し、今年も神奈川の研究水準の高さを披露した。八月には恒例となった夏季巡検や、日本史サマーセミナーを企画した。各月例会場、研究発表者は次のとおりである。

【月例会】

四月（県民センター）・五月（川崎）・六月（栄光学園・日世合同）  
・七月（県民センター）・九月（県民センター）・十月（県民センター）  
・十一月（七里ガ浜）・十二月（上鶴間）・一月（柏陽）  
・三月（県民センター）

【研究発表】

○秋季研究発表会（十月二十二日） かながわ県民センター  
「日本史で使える朝鮮資料―『海東諸国紀』と『朝鮮王朝実録』―」

○春季研究発表会（三月十日）

かながわ県民センター

「身近な神奈川古代史の発見―横浜の古墳時代を起点として―」

須藤 智夫（光陵高校）

『昭和史』の授業実践報告―空と海の特攻からみた戦争―

坂井久能（神奈川総合高校）

○全国歴史教育研究協議会東京大会（七月二十九日）（東京江戸博）

「シベリア出兵と大正時代」

早川英昭（栄光学園高校）

【夏季巡検】

今年八月二十五日に、江ノ島方面を柏陽高校矢野慎一のご案内で実施した。今回のポイントは竜口寺周辺調査と江ノ島周辺調査を中心に実施した。当日のコースは常立寺（元使塚）↓龍口寺（日蓮法難の地）↓天野政立墓地↓E・S・モース臨海研究所跡↓児玉神社↓曾禰荒助の碑↓江島神社↓サミュエル・コッキング苑↓県立女性センター裏、本土決戦砲台跡であった。天候不順であったが有意義な巡検を終えることができた。

【2008日本史サマーセミナー】

柏陽高校を会場に、八月十八・十九日の二日間、教員研修を目的とした夏季講座を実施した。内容は仏教史・外交史をテーマに当委員会の教員が中心となって、センター試験対策授業を行った。柏陽高校以外の高校の生徒・教員も多数参加し、盛況の内に修了することができた。生徒の受験結果に反映されていれば幸いである。

最後になったが、月例会の会場をご提供していただいた各高等学校、県民センターに感謝申し上げますとともに、今後ともご理解・ご協力をお願いする次第である。